

養護教諭の資質向上に関する指標

六つの柱	構成要素	養成段階	千葉県・千葉市が求める教員像	ステージⅠ 【成長期】 (保健室経営、学校保健に関する指導等) 養護教諭としての 自覚と資質能力の向上	ステージⅡ 【発展期】 (学校保健の推進、校務分掌等のミドルリーダー) ミドルリーダーとしての 自覚と資質能力の向上	ステージⅢ 【充実期】 (学校運営等、職員全体及び地域の養護教諭へ指導・助言) チーム学校をリードする 自覚と資質能力の向上
A 教職に必要な素養	1	使命感 責任感 教育的愛情 高い倫理観 コンプライアンス 服務規律の遵守	教職の意義 教員の役割 教職への意欲 課せられる義務等	教員としての職務に対する使命感、責任感、教育的愛情を持ち、教職に対する強い情熱を持っている。また、教育公務員として高い倫理観と不祥事根絶への意識を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行している。		
	2	社会性 コミュニケーション能力	広い視野			
	3	社会の変化への対応 広い視野 学び続ける意欲	教養等を学び続ける意欲 コミュニケーション能力			
	4	教職に関する教養	教育の理念、歴史、思想 社会的・制度的・経営的事項等について基礎的知識（選択）			
B 専門領域に関する資質能力	5	保健管理	学校保健安全法の理解 保健管理に関する基本的な理解と技能の習得	健康診断や健康観察等を通じて子供の健康状態を把握するとともに、救急処置、疾病の管理・予防、学校環境衛生管理に関する専門的な知識や技能を活かし、子供が安心して学校生活を送れるよう組織的に対応している。救急体制や心のケアの支援体制等、専門的立場から校内研修や関係機関と連携する等、校内の危機管理体制の整備に積極的に参画している。		
	6	保健教育	学習指導要領の理解 保健教育の基本的な知識と技能の習得			
	7	健康相談及び保健指導	健康相談及び保健指導の基本的な知識と技能の習得			
	8	保健室経営	保健室経営に関する基本的な知識と技能の習得			
	9	学校保健組織活動	保健組織活動に関する基本的な理解			
C 生徒指導等に関する実践的指導力	10	子供の発達過程や特徴の理解と信頼関係の構築 教育相談及び生徒指導個別指導	子供の心身の発達の過程、特徴 学校における教育相談の意義、理論及び進め方 生徒指導の意義	○人間性豊かで、教育愛と使命感に満ちた教員 ○高い倫理観を持ち、心身共に健康で、明朗、快活な教員 ○幅広い教養と学習指導の専門性を身に付けた教員		
	11	人権教育の推進 生徒指導上の課題への対応	人権教育の理念 理念に基づく、いじめ等の生徒指導上の課題に対する適切な対応の在り方			
D チーム学校を支える資質能力	12	教育課程の管理・運用	各学校で編成される教育課程についての意義及び編成の方法 各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義	○幼児児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受け止め、支援できる教員 ○組織の一員としての責任感と協調性を持ち、互いに高め合う教員		
	13	校務分掌と連携・調整	校内組織や校務分掌の理解 養護教諭に求められる役割			
	14	家庭や地域、関係機関等との連携・協働	取組事例を踏まえた家庭・地域との連携、協働の仕方 学校内外の関係機関との連携、分担して対応することの必要性			
	15	研修（研究）体制	研究と修養の必要性 資質能力の向上の必要性			
E 必要とする子供への対応	16	特別な配慮や支援を必要とする子供の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性等を理解し、きめ細かく支援するために、子供一人一人の教育的ニーズや健康状態を把握している。		
	17	学習上・生活上の支援	学習上の支援の方法と生活上の支援の方法			
F ICTや利活用・等教育	18	学校保健に関するICT利活用	情報活用能力の育成 ICTを活用した保健教育等の指導法 ICTを活用した子供の支援	学校におけるICT利活用の意義を理解し、保健教育や教育相談等においてICTを効果的に活用するとともに、子供の情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための取組を実践している。		
	19	ICTによる校務効率化	情報機器の操作 情報機器の活用に関する理論及び方法 ICTを活用した校務の推進			

※千葉県・千葉市教員等育成指標は、千葉県教育委員会ホームページ

(https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/shihyou/documents/01yougokyouyu-sihyou.pdf) に掲載しております。